



2022 年度 環境経営レポート

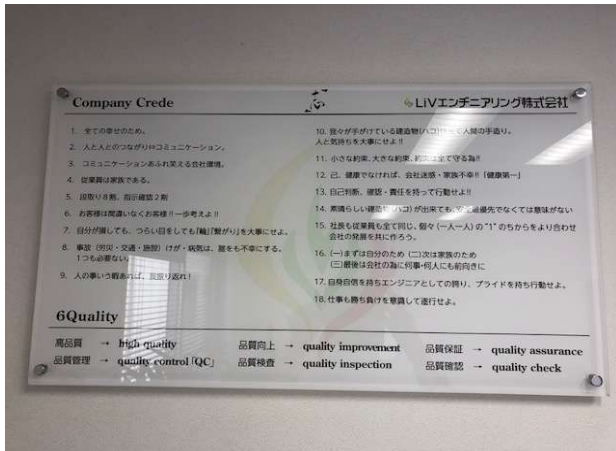
(対象期間 2022 年6月1日～ 2023 年5月31日)



作成日: 2022年6月21日
更新日: 2023年7月21日

目 次

項 目	ページ
◇環境経営方針◇	3
◇組織の概要◇	4
◇認証・登録の対象組織・活動◇	4
◇環境経営組織図及び役割・責任・権限表◇	5
◇主な環境負荷の実績◇	6
◇環境経営目標及びその実績◇	6
◇環境経営計画の取組結果とその評価◇	7-9
◇環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無◇	10
◇緊急事態対応訓練◇	10
◇代表者による全体の評価と見直し・指示◇	11
◇会社周辺の清掃活動◇	11



◇環境経営方針◇

<環境経営理念>

近年、地球の温暖やボーダーレスの大気汚染等の問題が顕著になっており、美しい地球と安全で住みやすい地域環境を次世代に残すため、本業である電気設備工事業の設計・施工を通じて、二酸化炭素と廃棄物排出量の削減及び資源の有効活用に全社員・協力業者一丸となり、積極的に取り組みます。

<環境保全への行動指針>

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 事業所及び建設現場における電力と化石燃料の使用量を削減し、二酸化炭素排出量を削減します。
3. 事業所及び建設現場において、一般及び産業廃棄物の排出を抑制すると共に分別と再生利用を推進します。
4. 事業所及び建設現場における水使用量を削減します。
5. 事務用品のグリーン購入と資材・原材料のグリーン調達に努めます。
6. 電気設備工事の設計、施工にあたり省エネ照明器具をはじめとする省エネ機器の使用を提案し、事業活動に伴う環境改善に努めます。
7. 地域での環境保全活動に積極的に参加します。
8. 環境に配慮した施工方法の提案・ECO商品の資材の使用に努めます。



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

制定日：2015年7月10日

改定日：2021年6月1日

代表取締役社長

橋本剛志

◇組織の概要◇

- (1) 名称及び代表者名
 LiVエンジニアリング株式会社
 代表取締役社長 橋本 剛志
- (2) 所在地
 事業所 〒664-0022 兵庫県伊丹市中野東3丁目130番
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
 責任者 代表取締役 橋本 剛志 TEL:072-785-9114
 担当者 総務事業部 小野 真史・森 幹子 TEL:072-785-9114
- (4) 事業内容
 電気設備工事、電気通信工事、空調設備工事、電信電話架設工事、
 防災・防犯設備工事、管工事の設計及び施工
- (5) 事業の規模
- | | | |
|-------|----------------|--------------------|
| 売上高 | | 728 百万円 |
| | 本社・事務所 | |
| 従業員 | 名 | 15 名 |
| 延べ床面積 | m ² | 231 m ² |
- (6) 事業年度 6月1日～5月31日

◇認証・登録の対象組織・活動◇

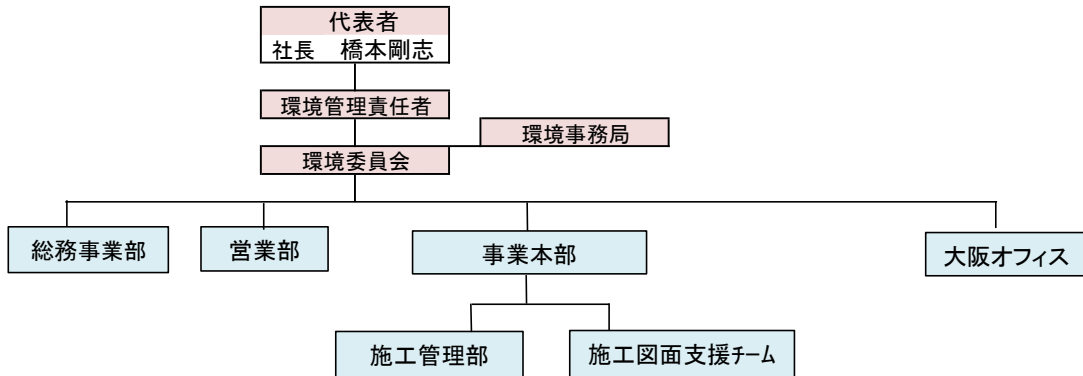
- 登録組織名: LiVエンジニアリング株式会社
 対象事業所: 事業所
- 対象外:
 活動: 大阪オフィス
 電気設備工事、電気通信工事、空調設備工事、電信電話架設工事、
 防災・防犯設備工事、管工事の設計及び施工



<AED設置による安心安全な街作り>

◇環境経営組織図及び役割・責任・権限表◇

更新日： 2023年6月7日



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐、環境委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
環境委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

◇主な環境負荷の実績◇



項目	単位	2020年	2021年	2022年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	23,443	22,940	19,768
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	KG	492	364	280
産業廃棄物排出量	KG	0	3,380	24,662
総排水量	m ³	75	75	62

※二酸化炭素排出係数 0.318 kg-CO₂/kWh 電力会社の調整後の係数

※負荷の実績は工事現場を含む

◇環境経営目標及びその実績◇

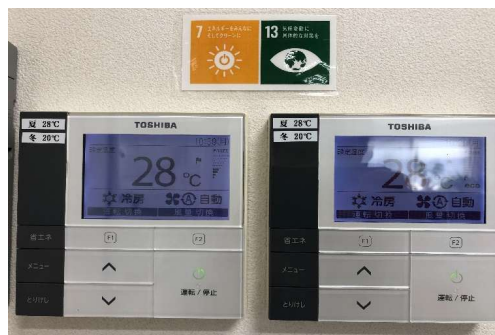
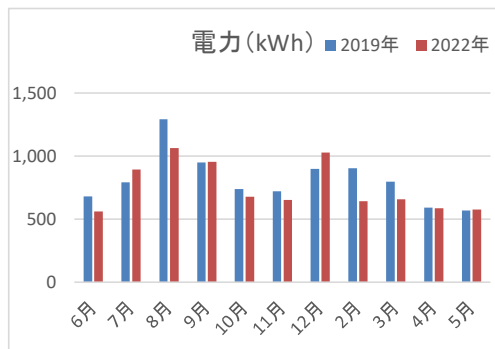
項目	年度	基準値 (基準年)	2022年		評価	2023年	2024年
			(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	3,188	3,156	2,952	○	3,124	3,092
	基準年度比	2019年	99%	93%		98%	97%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	18,024	17,844	16,815	○	17,664	17,483
	基準年度比	2019年	99%	93%		98%	97%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO₂	21,212	21,000	19,768		20,788	20,576
一般廃棄物の削減	kg	383	379	280	○	375	372
	基準年度比	2019年	99%	73%		98%	97%
産業廃棄物の削減	kg	3,534	3,499	18,342	×	3,463	3,428
	基準年度比	2019年	99%	519%		98%	97%
建設副産物の再資源化率の向上	%	10%	38%	56%	○	40%	42%
水道水の削減	m ³	75	74	62	○	74	73
	基準年度比	2019年	99%	83%		98%	97%
環境に配慮した設計・施工の提案		行動目標(次項による)					

◇環境経営計画の取組結果とその評価◇

数値目標：○達成 ×未達成

活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

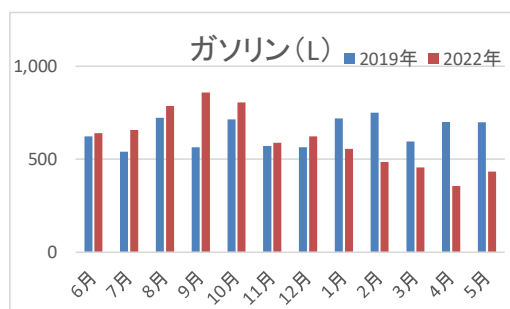
電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	月によっては目標達成できない時もあったが、累計でいうと今期は目標達成できた。 コロナ禍による空気清浄機や噴霧器の使用は避けられなかったが、感染対策も慣れてきているのもあり、過度な換気などをしなかったことや、暑さ寒さ対策も服装による調整ができたのが目標達成につながったと思われる。
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)		
・不要照明の消灯		
・ノー残業デーの実施		
・共有できる仕事はなるべく個人に任せず、社員同士協力し残業を減らし、事務所の利用時間を削減する。		



< 設定温度 表示 >

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計
2019年	681	793	1,293	951	739	722	899	1,080	904	799	592	571	10,024
2022年	561	892	1,063	955	679	653	1,029	991	641	658	586	576	9,284

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	ガソリンについては今期も目標達成はできなかったが、地方の現場が終了したことや遠方在住の社員の移動が無くなったから、すぐに使用料が減った。そういう部分では変動があっても仕方ない部分がどうしてもある。
・アイドリングストップ		
・エコドライブ徹底する		
・近距離の用務には社用車を使用せず自転車を使用し、エコを心掛ける。		



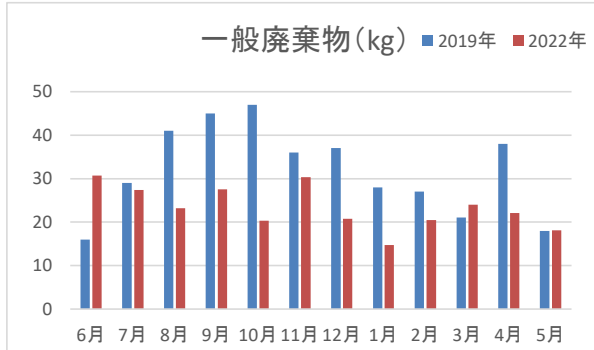
< 電気自動車 >

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計
2019年	623	541	724	564	715	572	564	720	750	597	701	698	7,769
2022年	640	658	786	859	806	589	623	556	485	455	357	434	7,248

軽油使用量

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計
2019年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2022年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

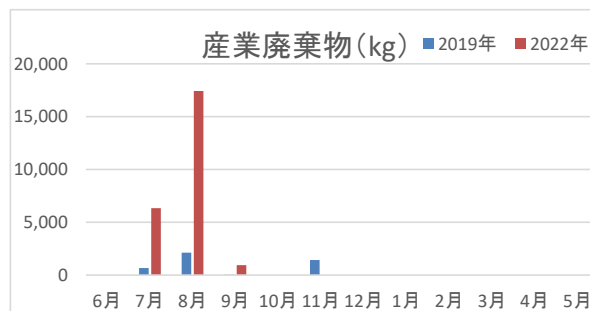
一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	コロナが少し落ち着いてきたこともあり、感染対策による廃棄物量を減らすことができたため、目標を達成することができた。また、業務による紙の使用をデータ化したことも廃棄物量の削減に繋がった。
・データ中の必要な部分を確認した後に印刷をする。		
・裏紙を使用する。		
・過去ファイリング書類のデータ化とファイル再使用。		



＜ペットボトルのキャップを、ゴミとして焼却処分するのではなくリサイクルすることで、焼却処分に伴うCO2の発生を抑制＞

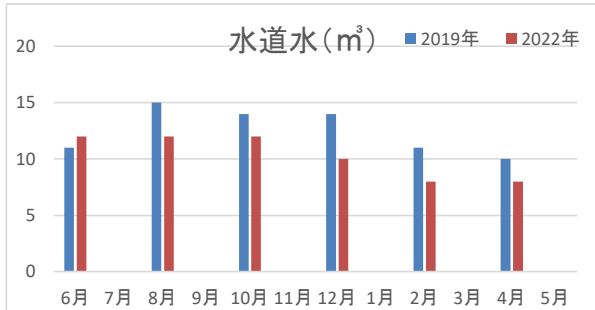
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計
2019年	16	29	41	45	47	36	37	28	27	21	38	18	383
2022年	31	27	23	28	20	30	21	15	21	24	22	18	280

産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	元請工事では新規設置ではなく取り換えが多いので、廃棄物が発生するのは防げず目標達成はできなかったが、リサイクルできるものは業者に引き取ってもらうようにした。
・分別の徹底		
・リサイクル可能な物は、廃棄せずにリサイクルする。		



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計
2019年	0	660	2,100	14	0	1,420	0	0	0	0	0	0	4,194
2022年	0	6,320	17,412	930	0	0	0	0	0	0	0	0	24,662

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	目標を達成できない月もあったが、だいたいが目標達成できていた。感染対策も頻繁な手洗いから、必要時の手洗いになってきたことも節水につながった。また、植栽の水やりも天気予報を考慮した。
・トイレに擬音装置取り付け		
・洗濯機利用時の適用水量の徹底		
・節水の徹底		



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計
2019年	11	0	15	0	14	0	14	0	11	0	10	0	75
2022年	12	0	12	0	12	0	10	0	8	0	8	0	62



環境に配慮した設計・施工の提案	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	元請工事はあったが、提案できる案件ではなかった。
・元請工事にLED化など省エネ機器の使用を、見積提出時に提案する。		
・元請になれる工事を受注するために、積極的に入札をする。		

◇環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反、訴訟の有無◇


法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

2022年5月31日

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	収集運搬業、中間処理業、産業廃棄物(廃プラ、廃ガラス、廃油、廃水銀ランプ等)
建設リサイクル法	解体工事、建設副産物
騒音規制法	空気圧縮機、送風機
振動規制法	空気圧縮機
水質汚濁法	油類・有害物質の保管
下水道法	除害施設
自動車NOx・PM法	対策地区内で排気ガス規制に適合した自動車の使用
消防法(危険物)	危険物の保管
フロン排出抑制法	業務用空調機・冷凍庫・製氷機
グリーン調達基準	自治体、元請のグリーン調達基準

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

◇緊急事態対応訓練◇

緊急事態の想定： 地震及び火災の発生	
■実施日： 2022年9月22日 ■参加者： 山本・岡田・横山・小野・森・樺山	■実施場所： 事業所 ■実施内容： ・通報訓練、消火訓練、避難訓練 ■評価： 消火器の取り扱い方と避難経路を確認できた。 持ち出しの貴重品の確認、持ち出し担当を再確認できた。 地震時に身を守る方法について話し合った。
<input type="checkbox"/> 手順書変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	
	
	
緊急事態の想定： 地震・火災の発生	
■実施日： 2022年10月17日 ■参加者： 橋本・山本・岩本・井上・中本・岡田・横山・木下・林・野瀬・福島・本間・小野・森・樺山	■実施場所： 事業所 会議室 ■実施内容： ・通報訓練、消火訓練、避難訓練
<input type="checkbox"/> 手順書変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	
■評価： 事前に避難経路を共有していたため、スムーズに避難できた。 消火器の場所、取り扱い方法を確認できた。	
■実施状況の様子	
	

◇代表者による全体の評価と見直し・指示◇

2023年6月12日

毎回思われるが、次年度こそ基準年の数値設定を今の会社の社員数、ここ数年の環境(コロナ・インフルエンザの流行)も踏まえて、
適正な基準年の数値設定を見直し、無理のない目標を立て直す。
末期も遠方現場と僻地の現場が増える事が予想される為、公共交通機関の通勤では難しい為、ガソリン使用料が増えるので、
電気自動車の再導入、燃費の良い軽自動車の活用を考慮して、少しでもCO2削減を目指す。

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
環境経営目標・計画	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
実施体制	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり

◇会社周辺の清掃活動◇

月に1回会社周辺の清掃活動を実施しています。
各自ゴミ袋と火ばさみを持ち、ゴミを集めています。さらに今後も地域社会に貢献できるように実施していくつもりです。

